

LPG改質型定置用燃料電池の本格的運用の開始について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、このたび、東芝燃料電池システム株式会社(本社:東京都港区芝浦一丁目、社長:木村芳幸)との協力により、当社川崎LPガス基地(所在地:神奈川県川崎市川崎区)において、LPG改質型定置用燃料電池システムの本格的運用を開始いたしました。
2. 今回の本格的運用の概要は次のとおりです。
 - (1)目的:LPG改質型燃料電池の性能検証およびメンテナンス体制の構築
 - (2)設置場所:川崎LPガス基地(神奈川県川崎市川崎区水江町5-1)
 - (3)開始日:2005年1月31日
 - (4)装置仕様:
 - 1)発電容量:700W(定格)
 - 2)発電効率:34%以上(LHV)
 - 3)熱回収効率:39%以上(LHV)
 - 4)サイズ:(本体)845H×400D×720W mm、(貯湯槽)200リットル
 - 5)燃料:LPG
 - (5)システム提供:東芝燃料電池システム株式会社〔(株)東芝の100%出資〕
3. 当社が独自に燃料電池システムの本格的運用を行うのは今回が初めてとなります。当社は、今春までにさらに2ヶ所で同様の燃料電池システムの運用を開始する予定です。さらに、来年度から規模を大幅に拡大し、燃料電池市場に本格的に参入する予定です。

以上

● 【写真】今回設置したLPG改質型定置用燃料電池システム

